

「オーディオ&ホームシアター展 TOKYO」



終了にあたって

(社) 日本オーディオ協会 会長 校條 亮治

実行委員長 西 國晴

日頃の弊協会に対しましてご支援に心から感謝を申し上げます。

さて、去る 11 月 21 日～23 日に開催いたしました「オーディオ&ホームシアター展 TOKYO」が盛況裡に終了しました。

昨年と比べ、初日は好天に恵まれ、昨年比約倍の入場者で幕を開け、二日目こそ午前は雨にたたられましたが午後には出足も伸び、平日にしては堅調で、最終日を含め前年を 13%程度上回る 28,700 人のお客様が来場され、楽しられました。大きな事故やトラブルもなく無事終了できましたことを、ご報告すると共に関係各位のご協力に心から御礼を申し上げます。

秋葉原開催の二回目でも有り、おかげをもちまして、ご出展企業数は新規出展もあり、74 社（前年 65 社）と増え、責任の重さを感じさせていただきました。

今年はエコポイントと地デジ化、3D の出現により大画面 TV の大普及もあり、メインテーマとして「見せます“良い音と映像”のある快適空間」と銘打って「音と映像の融合化」、ネットやモバイルオーディオという新たな音源の出現により「デジタルとアナログの融合化」を実現するために、次のような施策を行いました。

(1)「探そう本物のスピーカーサウンドの世界」を実現するために、ピュアオーディオの強化策として UDX ビル会場にも特設視聴室を設置し、小間ブース出展社の音だしができるようにしました。また、初めての試みとして「音のサロン」として最高級機器で聴く CD 試聴会、プロ音楽録音賞候補 CD の試



聴会、重ねて視聴環境としては良質なカーオーディオの世界にも改めて注力いたしました。

(2)「最新映像・3D 技術と音場体験」としてタイトルにもあるようにホームシアターの普及に注力させて頂きました。ハウスメーカー、部材企業など関係各社のご支援により大変好評であったことがアンケートからも明らかになっております。

(3)「見えてきた！高音質音源の新技術」として協会テーマブースを設置し、エジソンの蝋管蓄音機から最新のネットオーディオ技術・モバイルオーディオ技術・最新メディア・最新音場再生技術を商品展示・デモ・解説を連続的に行い、ユーザー認知に努めさせていただきました。

(4)「録って見よう！生の音源」として第四回生録会を、ビッグバンドをゲストに迎えて開催し、大いに楽しんでもらいました。

(5) さらにこれらを補強するために協会テーマセミナー、出版社セミナー、出展社セミナーを連日開催したことで、周辺メーカー視聴室、販売店視聴室

を縦横につなげ「回遊型イベント」を盛り上げました。

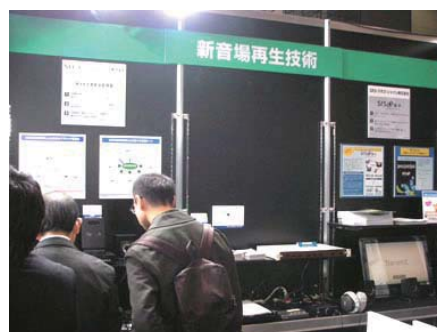
これらは入場者数の拡大やアンケートから見る満足向上に大きく寄与したものと確信しており、ご来場者、ご出展企業、並びに運営にご協力をいただいた各位のおかげと大いに感謝を申し上げます。

まだまだ、インフォメーション、プロモーションなど改革・改善が必要であることは明白であり、今後さらに努力をする所存であります。

なお、来期の開催につきましては、さらにパワーアップして開催の方向で理事会確認の上、後日ご案内をさせていただきます。



開会挨拶 加藤 滋 副会長



音源の新技术紹介コーナー



開会式 テープカット



特設視聴室



入場を待つご来場者



カーオーディオ コーナー



音のサロン



協会主催セミナー